

## 第4回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 24 年 7 月 9 日 (月) 午後 5 時 30 分～7 時 30 分  
場 所 武蔵野市立中央図書館 3 階 視聴覚ホール  
出席委員 伊野啓子 桂まに子 黒沢明子 酒井有紀  
船崎 尚 松山 巖 三井一夫 毛利和弘

### 会議次第

- 1 開会
- 2 前回会議要録の確認
- 3 議事

#### (1) 図書館の運営について

##### ① 平成 24 年度 武蔵野市図書館事業目標 (案) について

事務局から平成 24 年度武蔵野市図書館事業目標 (案) について説明。目標 (案) は前回の内容をふまえ、修正したものを配布。取組結果欄・コメント欄に前回までの会議と郵送でいただいたご意見を記載。

委員 「8 利用者対象別の図書館サービスの充実 2 児童サービスの充実」ハンディキャップを持つ子どもへのサービスについて、前回会議にて「検討する」となっていたサービス内容について記述がありません。具体的にどのようなサービスを提供するのでしょうか。

事務局 24 年度よりみどりのこども館へ出張し、おはなし会などを行っています。今後はみどりのこども館職員と連携し、サービス内容を模索したいと思います。

委員 図書館の中だけでなく出張という方法もあるんですね。

委員 具体的な事業内容はなるべく目標として入れたほうが良いと思います。

事務局 目標作成当初にはサービス内容は決まっておらず、検討した結果出張サービスを実施することになりました。サービス内容は取組結果に記載します。

委員 利用者に対するアンケートの実施予定はありますか。また、アンケート項目は細部まで分かれているのでしょうか。

事務局 「6 図書館の活用と情報収集の支援」の目標の通り、24 年度内に実施する予定です。アンケートの内容はこれから検討します。

委員 アンケート結果があると評価がしやすくなると思います。

委員 「6 図書館の活用と情報収集の支援 2 本に親しめる環境の整備」の目標として冊数の記載が難しい理由をご説明いただけますか。こちらは表記の問題ですが「ハンディキャップ」と「障害」の表記が分かれています。これは理由があるのでしょうか。また「7 レファレンスサービスの充実」レファレンス研修は、文章に接続詞として「たり」が使われており、読みにくいので表記を改めていただきたい。

事務局 目標冊数は、購入の際に本の種類や内容、質などを検討しており、単純に冊数を増やしているわけではないので、目標として冊数を出すことは難しくなり

ます。前の会議での説明が不十分だったところですが、購入金額は維持、増額していこうと思いますが、購入数と廃棄数は毎年異なっており、単純に冊数の増減を出すことが困難です。表記は「ハンディキャップ」に統一します。また、レファレンス研修の文章も表現を改めます。

委員 「5 市民や関係機関と連携したサービスの充実」の3つ目の目標に「収集整備」と「企画展示」の2つ目標があるので、項目を分けていただいたほうが評価しやすいと思います。冊数は収集整備の目標になると思います。また、企画展示の内容が決まっていればどのような形で行うか、目標に入れてください。

事務局 目標は訂正します。企画展示はできるだけ目標に記載します。

委員 企画展示はぜひどのような方向で行うかを明記してください。

委員 「選書会議」とはどのような会議ですか。動機付け指導とは別のものですか。

事務局 夏休み期間中に各学校1名ずつ集まっていたいただき、学校指導要領等に合わせ、学校連携用資料として図書館がどのような資料を集めれば学校で役立てていただけるか意見を伺う会議で、年1回行っています。

委員 大変よくわかりました。今年度はその学校連携用の貸出テーマ別リストを作っていただけということですね。

事務局 毎年、修学旅行や学校教科書内容などカリキュラムで決まったテーマでの貸出が多くあります。今年度はそのリストを作成することで事務を効率的に行えるようにし、また誰が対応してもわかるようにしていきたいと思います。このリストを先生方にご提供することもできると思います。

委員 「課題解決テーマ展示」の目標回数は3館での数値でしょうか。またブックリストが市の各課で実際に役立っているかをどのように評価するのでしょうか。

事務局 「課題解決テーマ展示」は、中央で行っており、全職員が年に1度担当することで合計10回を目標としています。昨年度は9課と協力し、その結果、自分たちの課で行う展示で図書館の資料を借りたい、といった反響もありました。今年度は資料リストを送るだけでなく、「テーマ展示」以外の庁内への取組として、雑誌記事を提供するなど、図書館から情報を発信していきたいと考えています。評価につきましては、今後事業を進めていく中でアンケートなどを行っていくべきと考えています。

委員 どんなテーマで展示を行っているのですか。

事務局 「武蔵野市の図書館」の34ページに昨年度実施したテーマの一覧があります。「省エネ・節電」など、市民の抱える様々な課題を解決するテーマを選んでいきます。また図書館の資料を紹介するだけでなく、テーマに関連した市の発行物やパンフレットなども各課から取り寄せて配布しています。

委員 今年度は違うテーマになりますか。また、ホームページなどでテーマ展示に関するお知らせはありますか。

事務局 別のテーマになります。お知らせ等は「ブックリスト」に掲載しています。

委員 このサービスはもっと目立っていいものだと思います。市民に役に立つだけでなく、これだけで武蔵野市のパスファインダーになり得ると思います。評価方法が具体的にわかるものを年度末までをお願いします。

委員 学校図書館のデータベース化はどこまで進んでいますか。全ての学校で終了していますか。また、図書館との統合データベース化はなされていますか。

事務局 データベース化は学校ごとで行っており、学校同士の連携はシステムとしてはできるようですが、統合はされていないようです。また、現在図書館と学校は全く別のシステムを導入しており、連携はされていません。

委員 昨年度ようやく学校図書室のデータベース化が終わりました。今年度は夏に各学校で蔵書点検を行う予定です。

委員 徐々には進んでいるという状態ですね。

事務局 数年前と比較すると、武蔵野市の学校図書館は近年で大きく進んでいます。システム化したこと、蔵書点検を行うことは大きな進歩です。

委員 石川県白山市では市立図書館と学校図書館の統合データベース化がなされています。そういったところを前例にしながらぜひ統合していただきたい。

事務局 図書館から働きかけていきたいと思います。学校図書館の充実には文部科学省も力を入れているもので、武蔵野市でも図書室サポーターの充実はすでに始まっています。今は第一歩という状態です。

委員 「7 市民の学びと課題解決の支援 1 レファレンスサービスの充実」の目標にある「研修」と「レファレンス事例集」は分けたほうが良いと思います。「研修」は各スタッフの基礎体力の向上、「レファレンス事例集」は情報の共有が目的なので、目的が別だと思います。

事務局 表現を修正する中で検討したいと思います。

委員 では、24年度目標については今日の意見をまとめたものを送付していただき、次回までに目標を決定するというところでよろしいですね。

## ② 平成23年度 武蔵野市図書館事業評価（案）について

事務局から平成23年度事業取組結果を報告。評価は「武蔵野市の図書館」と併せて評価していただけるよう説明。本日は取組結果についての疑問等をご指摘いただく。

委員 「1 図書館施設・機能の充実 1 公共施設を利用した図書館機能の充実」の目標であるブックポストの設置可能な場所についての検討について何か成果物はありますか。

事務局 各人の研究段階で、会議を行うことやまとめには至っていません。

委員 少なくとも近隣自治体については調査しているのではないのでしょうか。

事務局 平成20年度のデータまでで、最新の情報はありません。

委員 耐震工事は完了していますか。書棚の倒壊の危険性はないのでしょうか。

事務局 施設は耐震基準を満たしています。書棚は固定されていますが、震災時に中央図書館3階地区架が一部倒壊しましたので、23年度に修理、補強しました。その他各什器は問題ありません。書棚からの本の落下はまだ対策ができていませんが、今後研究し、取り組んでいく予定です。耐震工事だけでなく、施設の老朽化に伴う工事も発生しています。そちらもできるだけ対応していきたいと思います。

委員 研修参加者へのアンケートはありますか。研修は常に評価をしておかないと改善、改革に繋がらないので、ぜひやっていただきたい。

事務局 情報セキュリティなど、市の一般業務研修では行っていませんが、こちらは市の担当課の監査があります。図書館業務に関する研修では、「研修個人シート」として23年度より実施しています。

委員 安全対策マニュアルの検討結果はありますか。

事務局 市の防災計画の変更点等をご報告できます。現在、市自体の防災計画の再検討が進んでおり、図書館はこの計画の策定後となります。

委員 市の計画と図書館との関わりについて、できれば中間レポート等の提出をしていただけると評価がしやすくなります。

委員 「1 図書館施設・機能の充実 1 公共施設を利用した図書館機能の充実」について、「今年度特出すべき取組は無し」とありますが、「職員各人にて検討中である」など表記を直していただけないでしょうか。

「2 安心して利用できる図書館環境の構築 1 利用者の安全性を高める施設の充実」の監視カメラの増設ですが、「17台」と言われても評価をにくいので、進行状況などをお聞かせください。また、防災訓練はどのような訓練を実施されたのでしょうか。内容の再検討は必要か、回数は適当かなども入れていただけると評価がしやすくなります。

事務局 まず監視カメラですが、中央図書館で全て入れ替え、さらに合計3台を増設しました。映像は白黒からカラーになり、鮮明度も向上しました。また、カメラがほぼ360度動くことで死角が少なくなりました。監視カメラは設置することで抑止力になりますし、何か起こった時に確認し証拠の保全が可能です。いずれも今回の更新により効果は上がっていると感じています。

防災訓練は、22年度まで火災発生を想定して行っていましたが、23年度は震災発生を想定して行いました。今回の取組についての評価を含むコメントを追加するようにします。

委員 入替と3台増設については取組結果に入れたほうがよいでしょう。

委員 「3 質の高いサービスを支える体制整備 1 職員の人材育成」の取組結果に「研修個人シート」の記述がありませんが、こちらはいかがでしょう。

事務局 記載が漏れてしまい申し訳ございません。「研修個人シート」は作成し、正規職員・嘱託職員を対象に実施しています。

委員 作成・実施についての記述は結果欄に入れたほうがよいでしょう。

委員 「3 評価システムの構築」の取組結果が「検討しました」となっていますが、この検討結果について教えていただけますか。

事務局 特にご提示できる結果はありません。各職員に図書館評価の表を送っておりますが集約はされていません。どのやり方が自分の業務を理解し、評価するに当たってわかりやすいか、検討している段階です。

委員 ひな形などを提案したのであればそれを結果に入れていいと思います。

委員 「2 安心して利用できる図書館環境の構築 3 危機管理体制の構築」についてですが、つい先日の直下型地震のとき、私が訪れていた近隣の図書

館では、書棚から離れるようにという注意と震源地や震度を知らせる館内放送が繰り返し流れました。情報を知らせることは良いのですが、職員が見回りをすることが初動の対応ではないかと感じました。武蔵野市ではこういった場合はどのようなマニュアルになっていますか。

事務局 昨年度の防災訓練では、震災発生時にまず職員の見視確認にて被害状況の把握を行いました。館内放送は利用者の不安を煽ることのないよう適切な放送を行うようにしています。また各階の職員が被害状況の確認を行ったあと、避難の誘導等を行うことを想定しています。

委員 23年度防災訓練では震災を想定して行われたということでしたので、このときの台本があれば結果としてもよいのではないのでしょうか。

委員 「1 利用者の安全性を高める施設の充実」にある監視カメラの目標ですが、中央以外での増設等は終わっているのでしょうか。それとも中央のみ欠けていたので増設したのでしょうか。エレベーターも同じく中央のみで、吉祥寺とプレイスは既にリスタート機能が付いているのでしょうか。

事務局 吉祥寺では現在、監視カメラの増設の予定はありません。エレベーターリスタート機能設置工事は平成25年度に行う予定ですので、25年度目標に掲げる予定です。震災時、各地でリスタート機能がないことによる閉じ込めが多く起こりました。このようなことがないように、市では順次設置工事を行っています。プレイスのエレベーターには既に設置しています。監視カメラについては増設を含め死角をなくすよう検討しています。

委員 ではここは目標に対する結果ということで評価すれば良いですね。

委員 「3 質の高いサービスを支える体制整備 1 職員の人材育成」研修の参加職員数が大きく増えていますが、これはプレイス開館に伴い職員数自体が増えたからでしょうか。

事務局 プレイスオープンに伴い人数が増え、初任者研修を行ったことにより参加人数が増加しました。また、平成22年度までの実績数字に漏れがあったのかもしれない。23年度からは研修個人シートにより申告を行ってもらい、集計しています。

委員 26年度までの数値目標として「毎年一人3回以上の研修参加」とありますが、23年度はどれくらいの職員が達成していますか。

事務局 一人当たりの参加回数は出すことができます。

委員 せっかくわかりやすい数値目標があるので、達成できているのかどうかの記入を結果欄にお願いします。

委員 利用者は職員を選べないので、平均だけでなく最低ラインを達成しているかどうかを出していただきたいと思います。

「1 図書館施設・機能の充実」の目標であるブックポスト増設には、何か進めにくい問題があるのでしょうか。

事務局 過去に交渉がうまくいかなかった経過があることは事実ですが、現在何か特別な支障があって進められないというわけではありません。既存施設や駅など、設置場所のアイデアはあっても具体的な計画がまだできていないとい

う状態です。実際にポストを運営するとなれば予算確保が必要になり、また輸送等によるCO2排出等の環境面の問題もあります。また、設置施設への協力のお願いの必要もあります。2か年での計画となっていますので、今年度は結果をお示しできる段階まで至りたいと思います。

委員 研究結果があつてはじめて実現に繋がります。徒歩10分圏内にブックポストを設置した自治体やコンビニエンスストアを利用している自治体もあります。他自治体を調査研究し、24年度はぜひ結果の提出をお願いします。

「3 質の高いサービスを支える体制整備 2 施設の管理・運営形態」の開館時間の延長についての取組結果が大変わかりにくい表現となっています。「負担」とは具体的に何なのでしょう。お金でしょうか、人でしょうか。

委員 同じところですが、予算要求を行ったのは23年度中だと思いましたが、要求は通りましたか。

事務局 夜間開館を実行するには人員を増やす必要があり、人件費が増加します。また、吉祥寺は現状でも事務スペースが狭いので、人員を増やすには施設改修も必要になります。このため、かなりの財政負担が見込まれるという判断で、別の手段を考えるようにという回答で、予算は認められていません。

委員 そのように言っただければわかります。表記がわかりにくいですね。

委員 「6 図書館の活用と情報収集の支援 2 本に親しめる環境の整備」にあります「武蔵野市子ども読書活動推進計画」に関わる取組とは何を指すのでしょうか。

事務局 23年度の取組は結果欄に抜き出して記載するほうがわかりやすいですね。内容としては小・中学校や地域などそれぞれでの現状と課題、各学校での取組や図書館と学校との連携の強化の必要性など、市全体の読書活動推進計画が書かれております。読んでいただければ現状や、これからどのようなことをしていくのかなどがわかると思います。

委員 今の取組結果は文章表現として、もっと端的に述べていいと思います。

「5 市民や関係機関と連携したサービスの充実 3 その他機関との連携協力」の取組目標が「年3回」に対して取組結果に回数がないため、文章の整合性が取れていません。また、「地域振興の推進や地域文化の創造・発展」がどういう形を備えてこの取組結果になったかを端的に示していただけると評価がしやすいと思います。

事務局 目標に対しての評価なので、回数で示すことが必要ということと、行った取組に対する関連付けも含め、結果欄を改めたいと思います。

委員 資料展示などは実際行ったのでしょうか。

事務局 「ミニトピックス」として吉祥寺美術館と連携した展示を行いました。課題解決テーマ展示では、武蔵境活性化委員会や商工会議所などから資料を提供していただき展示に生かしました。また、その回数などはお出しします。皆様にわかりやすい形で資料を作成します。

委員 「子ども読書活動推進計画」について考えてみると、これはとても大きなものだと思います。図書館としてやるべきことは、いかに各団体へ広報して

いくかが重要で、推進すべく努力するのは保育園や学校など各団体だと思います。実施したことを吸い上げられたら良いと思うので、結果についての情報収集をしていくことが必要だと思います。

委員 「7 市民の学びと課題解決の支援 1 レファレンスサービスの充実」の目標と結果にレファレンス件数がありますが、この件数は中央館のみの数字でしょうか。全体としてレファレンス件数はどのくらい増えていますか。

事務局 「武蔵野市の図書館」67 ページと 39 ページを比較していただくとわかります。中央図書館の件数は、22 年度は 15,626 件、23 年度は 20,667 件となっており、中央だけでもかなり増えていることがわかります。

委員長 平成 22 年度の結果に「15,626 件（中央のみ）」、平成 23 年度に「44,609 件（中央 20,667 件）」と入れるとわかりやすいと思います。

委員 「6 図書館の活用と情報収集の支援 2 本に親しめる環境の整備」の取組目標である児童向けテーマ展示の実施回数の記載が 22 年度・23 年度共にありませんが、これは実施しなかったということでしょうか。

事務局 記載が漏れ、申し訳ございません。22・23 年度共に 7 回実施しました。

委員 「7 市民の学びと課題解決の支援 2 学びを支える情報の収集、提供、発信」の目標であるパスファインダー発行のための情報収集はどの程度進んでいますか。

事務局 24 年度の作成に向け、武蔵野市として何が必要かを検討し、また他自治体にはどのようなものがあるか等を調べている段階です。23 年度には内部資料として郷土資料のパスファインダーの下地になるものを作成しました。

委員 では下準備である内部資料を結果としてください。

委員 「5 市民や関係機関と連携したサービスの充実 4 学校との連携協力」に、「図書室サポーター会議への出席」とありますが、こちらは図書館サポーターさんから大変好評と聞いています。

事務局 ありがとうございます。会議では、新しい本の紹介やブックリストの提供などを行っています。

委員 アンケートを取っているとこれらの意見がすぐに評価に繋がります。

委員 「8 利用対象者別サービスの充実 3 ヤングアダルト向けサービスの充実」の取組結果に「ティーンズライブラリを設置」とありますが、これをもっとプレイスならではのものであることがわかるような表現にしていきたい。この表現では青少年向けの棚を用意しただけともとれるので、プレイス独自ののものであることが伺えるような表現していただけますか。

事務局 「ティーンズライブラリ」は B 2 の青少年たちが集まるコーナーに置いた専用の図書であり、図書館の資料とは別のものになります。図書館の YA コーナーはこのスペースの隣にあります。

委員 プレイスにはよく伺うのでわかりますが、10 代しか入れないスペースというのは他のところから来た人は驚いているようです。もっとプレイスならではの取組という表現をしていただきたいと思います。

事務局 西部図書館時代にはなかった YA 図書をプレイス開館に伴い設置したこ

とやプレイス独自の配架をしていることなど、独自の取組であることがわかる表現になるように工夫したいと思います。

委員 「居場所」としての考え方は驚きます。目標としては蔵書数や貸出数などになっていてあまり見えてきませんが、「居場所」としての役目は従来の施設にはあまりないと思うので、一行入れても良いと思います。

事務局 「ティーンズライブラリ」は青少年の居場所づくりというプレイス独自のものであり、他の図書館とは違うものですが、図書館だけの部分ではありません。評価をする際、図書館としてアプローチしているものではないので、結果としての数値が出しにくいところになります。

委員 従来の図書館の考え方ではない、単なるYAコーナーでないということがわかるようにしていただきたい。

委員 「2 児童サービスの充実」において「障害者福祉課職員、みどりのこども館職員へヒアリングを行った」とありますが、まとめはありませんか。

事務局 平成 23 年度はどのようなサービスを行えばよいかのヒアリングを行い、それを基に 24 年度から出張サービスを始めました。24 年度のはじめに計画としてまとめたものはありますが、23 年度の結果としてはありません。

委員 では結果はヒアリングの実施のみでよろしいですね。

「4 シニア利用者に対するサービス」について結果が「今年度取り組みなし」ですが、こちらは全く行わなかったということでしょうか。

事務局 記載が漏れており、申し訳ございません。プレイスでの老壮シニアとの連携の取組結果がありますので、それらを評価していただきたいと思います。

委員 「5 市民や関係機関と連携したサービスの充実 2 課の図書館施設、行政部局との連携・協力」「課題解決テーマ展示」の取組結果にある「展示」とはポスターのことでしょうか。また「配布」はチラシでしょうか。

事務局 ポスターとチラシを指します。将来、図書館資料だけでなく、例えば道具の見本を展示することなどもあるかと思い、このような表現にしています。

委員 「7 市民の学びと課題解決の支援 1 レファレンスサービスの充実」で作成の地図リストは、武蔵野市所蔵の地図だけを掲載したものでしょうか。

事務局 武蔵野市立図書館所蔵の地図のみ掲載しています。問い合わせの多いレファレンスなので、年表形式で作成し、職員がすぐに答えられるようにしました。都立図書館でも住宅地図などの一覧がありますので、市で所蔵していないものはそちらのデータベースなどを利用しています。

委員 テーマ展示で 23 年度の実績として連携が 9 課とありますが、武蔵野市全体では何課ありますか。またこの 9 課はどのような課になりますか。

事務局 武蔵野市には現在、10 部 53 課あります。昨年度の実績では、テーマが似ているものもありましたので、一部重複している課もあります。市民の課題を解決することが目的なので、環境政策や健康など、市民の生活に密着した課が多く登場する傾向があるようです。

委員 今後、連携する課は増えていくのでしょうか。

事務局 増えていくことは予想されますが、業務内容が市民生活に密着した課や、



市民の関心のある問題を扱う部署は多く登場することになると思われます。

委員 リストは協力してくれた課にのみ送付しているのですか。

事務局 関係する課に協力をお願いし、リストを提供しています。業務に関係する本のリストを送付することで、各課の職員が企画・政策を立案する際に図書館の資料を利用してもらうなどの結果に繋げていきたいと考えています。

委員 展示する際に「〇〇課と協力しています」など掲載はしていますか。

事務局 特に表示はしていませんが、「子育て支援サービスについてのパンフレット」等を配布することで、担当課のサービスをPRしている面はあります。

委員 サインに「協力 〇〇課」といれてもいいかもしれませんね。

事務局 今後、実施していきたいと思います。

(2) 今後のスケジュールについて

次回以降の会議等日程の確認を行った。

(3) その他（会議日程等）

今回は平成24年10月29日午後5時30分より武蔵野プレイスにて開催を決定した。

4 閉会